

# マイスター・ハイスクール事業及び マイスター・ハイスクール普及促進事業 成果発表会

2026/1/30 金 10:00~14:20



## 開催趣旨

産業界と専門高校(工業高校、農業高校、水産高校等)が一体となった  
次世代の産業人材育成の先進的取組の成果について、発信します。

### マイスター・ハイスクール事業とは

第一線で活躍する企業人・技術者・研究者等の民間人材が学校に入り、産業界と連携した教育活動やカリキュラム開発等を実施することで、産学連携で人材育成を行うモデル事業。

文部科学省委託事業として令和3年度に開始し、令和7年度が最終年度となっています。



## 開催の流れ

10:00~10:05 : 開会挨拶

10:05~10:45 : パネルディスカッション

10:45~11:05 : 調査研究事業報告

11:25~12:00 : 事業成果発表(前半)

12:05~13:05 : 休憩

13:05~14:20 : 事業成果発表(後半)

### パネルディスカッション

マイスター・ハイスクール事業に取り組んだ  
高等学校の卒業生たちによる  
パネルディスカッションを実施します。

#### — テーマ —

- ◆ マイスター・ハイスクール事業で学んだこと
- ◆ 自分の進路のどのような影響があったか
- ◆ これからの抱負や展望 など



## 事業成果発表プログラム

	A	B	C	D	E
前半	① 11:25~12:00 熊本県 (農業・工業・商業・福祉)	山形県 (県内全校)	愛知県 (福祉)	宮崎県 (農業)	静岡県 (工業)
	② 13:05~13:40 福井県 (工業・農業・商業・家庭)	長崎県 (県内全校)	三重県 (福祉)	宮城県 (農業)	兵庫県 (工業)
後半	③ 13:45~14:20 新潟県 (水産・農業)	北海道 (農業・工業・商業・水産)	—	学校法人一川学園 清和学園高等学校 (工業・家庭)	仙台市立 仙台工業高等学校 (工業)

※事業実施期間 : 2021年度~ 2023年度~ 2024年度~

※()内は拠点校の学科

主な  
対象者

- 各都道府県・指定都市教育委員会等担当者
- 学校法人等ご担当者
- 高等学校関係者
- 産業振興・産業人材育成に係る各都道府県担当者

- 産業界
- 経済団体
- 農業協同組合
- 漁業協同組合 等

登録方法

下記アドレスまたはQRコードに  
アクセスし、登録ください。  
<https://forms.office.com/r/2D7Mzcjzw8>  
※申込期日は令和8年1月23日(金)



# 事業成果発表概要

① 11:25～12:00(11:45→12:00講評)

A 熊本県

熊本県立八代工業高等学校・熊本県立玉名工業高等学校  
熊本県立阿蘇中央高等学校・熊本県立天草工業高等学校

2021年度～

テーマ

熊本県版マイスター・ハイスクールによる持続可能な産業人材の育成  
～自律的に学ぶ生徒を育てるための学校と産業界の絶え間ない協働～

本県では、令和3年度から八代工業高校、令和6年度から玉名工業高校、阿蘇中央高校、天草工業高校を加え、「学校と産業界が自律的・持続的に連携する仕組みづくり」に向けて下記を中心とした取組を行っています。

- 県域・地域の产学研官金との共通ビジョンと合意形成に基づく、一体的な産業人材育成エコシステム(プラットフォーム)の構築と理念の普及
- 校内組織の校務分掌としての位置付けと普及促進に向けた取組
- 学校と産業界との「対話」によって整理した、育てたい生徒の資質・能力及び持続的なカリキュラム改善による、各拠点校の取組の成果と課題の解決策

5年間の取組みで得た学びや成果とともに、令和8年度以降の取組の方向性について発表を行います。

B 山形県

山形県立高等学校(14校)

2024年度～

テーマ

魅力ある県立高校づくり推進事業  
～フューチャープロジェクトの取組～

山形県教育委員会では、各産業系高校に産業界・自治体・大学等で構成するコンソーシアムを設置し、産業界等との連携・協働により、生徒の地域産業への理解を深めるとともに、高度な技術や専門性を身に付けた人材の育成、産業高校の魅力発信を図ることとしており、以下の事業を実施しています。

- 地域产学研連携コーディネータを県内4地区に配置・産業教育連携校会議及び研修会の開催
- 各産業の次世代分野研修の実施・産業現場実習や長期インターンシップの実施

今回は、事業最終年度の成果と課題を発表するとともに、山形県立村山産業高等学校から、農業科、工業科、商業科の3学科を設置する産業高校におけるこれまでの产学研連携の取組みについて発表します。



# 事業成果発表概要

① 11:25~12:00(11:45→12:00講評)

C 愛知県 愛知県立古知野高等学校

2024年度~

テーマ

DX時代をリードする高度介護人材の育成  
-愛知から始まる高校福祉の新潮流-

愛知県立古知野高等学校では令和6年度より、「科学的介護」と課題解決型学習「KOCHINO PBL」を2本の柱として、教育実践を進めてきました。

令和7年度はこれに加え、新たに「子ども食堂」の運営や「認知症VRコンテンツの開発」など、地域・産業界との協働による学びを深化させています。

今回の発表では、これらの取り組みの詳細に加え、生徒が学びの過程でどのように変容したのかを明らかにするため、非認知能力の可視化に取り組んだ結果を報告します。

また、次年度以降に向けて、本校がマイスター・ハイスクールの取組をどのように自走させていくか、その仕組みづくりについて現在検討している内容も併せて報告します。

D 宮崎県 宮崎県立宮崎農業高等学校

2024年度~

テーマ

持続的な食料システムを担う次世代リーダーの育成  
~『みどりの食料システム戦略』を基盤とした学習プログラムの構築を目指して~

本校(宮崎県)では、次代に必要な専門性を高めるべく、農水省「みどりの食料システム戦略」に基づく取組を共通テーマとし、産業界等との連携に教科や学科間の連携を組み合わせ、以下の事業を実施しました。

- 産業実務家教員による講習会等
- 学科の垣根を越えて実習等を行う学科連携型学習
- 他学科の専門分野を学ぶ学科横断型学習
- 農業×数学などの教科連携型学習
- オランダでの最先端農業技術や食文化等を学ぶ海外研修

## 他学科学習の様子



本事業により、生徒は専門分野への興味関心を高め、理解を深めました。

今後は、関係高校全体へ普及させ、専門教育の更なる充実を図ります。

# 事業成果発表概要

① 11:25～12:00(11:45→12:00講評)

E 静岡県 学校法人沼津学園 飛龍高等学校

2024年度～

テーマ

Society5.0 実現を牽引する未来思考型産業人材育成プロジェクト  
～カーテクノロジーミュージアムによるSTEAM教育の実践と普通科への普及～

学校法人沼津学園 飛龍高等学校では、EVなど次世代自動車に対応した産業人材の育成を目指しています。

これまで、

- スズキ(株)、トヨタ・日産・ホンダ専門学校、神奈川工科大学等と連携し、座学と現地研修と連動させた、シラバスの作成
- 自動車・ものづくりに興味・関心のある中学生を受け入れるため、外国人生徒選抜を実施

などに取り組んできました。

また、事業期間終了後の自走化に向けて、以下の取組を計画しています。

- スズキ(株)と連携した、生徒による中学校技術での自動車エンジン出前講座の実施
- 新たな教育課程の編成・実施

発表会では、本校の取組や成果のほか、今後の展望についてもお伝えします。

② 13:05～13:40(13:25→13:40講評)

A 福井県 福井県立坂井高等学校・福井県立武生商工高等学校

2021年度～

テーマ

マイスター・ハイスクールで描く福井の地域人材育成デザイン

福井県では、令和3年度からマイスター・ハイスクール事業に取り組んできました。

拠点校である坂井高校は「先進的取組校」として、これまでの活動をさらに「深化」「発展」を目標に、武生商工高校は、令和6年度より新たに拠点校に指定され、「成長していくモデル校」として取組んできました。

各校の取り組み(下記)に加え、他の専門高校への、福井県の普及促進内容について発表します。

坂井高校

- 学科・コースを超えた探究的な学び
- 「坂井高校コンソーシアム」の活動

武生商工高校

- 企業連携×学科連携による2年生課題研究の取組み
- 「商工スキル」をもとに育む、地域を支える即戦力としての資質・能力

# 事業成果発表概要

② 13:05~13:40(13:25→13:40講評)

B 長崎県 長崎県立高等学校(15校)

2024年度~

連携する産業界関係団体

- 農業 : JA長崎中央会、長崎県農業会議
- 工業 : 長崎県工業連合会、ながさき半導体ネットワーク  
長崎県建設業協会、長崎県情報産業協会
- 商業 : 長崎県商工会議所連合会
- 情報 : 長崎県情報産業協会
- 水産 : 長崎県漁業協同組合連合会
- 福祉 : 長崎県社会福祉協議会

- 農業経営課、農業イノベーション推進室
- 企業振興課、未来人材課
- 建設企画課、新産業推進課
- 観光振興課、経営支援課
- 新産業推進課
- 水産経営課
- 長寿社会課

テーマ

NEXT長崎人材育成事業  
~県教委による産学官連携の長崎型モデル「組織接続×伴走支援×対話」~

長崎県の特徴である県全体を包括した組織的・持続的な連携体制づくりの成果や課題とともに、今後の本県の産学官連携に向けた展望(グランドデザイン)について発表します。

## 1. 県単位の産業団体・学校・県関係部局との組織接続

本県の専門高校・主な産業を網羅(農業・工業・商業・情報・水産・福祉・建設)  
県教委主導で組織間の分断を接続し学校単体では難しいダイナミックな連携へ

## 2. 学校の伴走支援

産学連携コーディネーター(民間・教育・行政経験の3名)×関係指導主事  
学校ニーズ起点の支援(産学官連携の授業設計・意見交換・協定締結)  
ファシリテーターとしての県教委の在り方

## 3. 対話の展開

意見交換会・学校見学・協定締結などあらゆる場での対話  
対話を通じた参画意識の向上と相互理解



みなが咲き、  
ながさき。

C 三重県

三重県立明野高等学校・三重県立みえ夢学園高等学校  
三重県立朝明高等学校・三重県立伊賀白鳳高等学校

2024年度~

テーマ

とびだせ！はばたけ！みえふくっ子！  
~みえの次代を担う福祉系人材の育成~

三重県では、拠点校2校、連携校2校の4校で生徒の実践力育成や福祉の魅力発信に取り組んでいます。

- 4校で連携した成果発表会や福祉の魅力を発信する取組の実施
- 明野高校(拠点校)による課題解決型学習「あけのゼミ」の実施
- みえ夢学園高校(拠点校)による介護の実践力を育む教材開発
- 朝明高校、伊賀白鳳高校(連携校)による地域や地元企業と連携した取組

県教育委員会では、今後も他部局と連携し、産業界等と連携した取組を推進していきます。  
今回は2年間の活動の中で得られた成果と課題、そして次年度以降の展望について発表します。

# 事業成果発表概要

② 13:05~13:40(13:25→13:40講評)

D 宮城県 宮城県加美農業高等学校

2024年度~

テーマ

宮城県加美農業高等学校の2年間の取り組み

宮城県加美農業高等学校では、「産業界をリードする創造的アグリテックエンジニアの育成～深化した探究学習により地域から未来人材を発信～」のテーマのもと農業機械科を中心に各事業に取り組んでいます。

最終年度(2年目)を迎え、今年度の成果について発表します。

- 「人材発掘」小中学生を対象とした、本校の入学者増につなげる  
→ 未来LABO(出前授業)、校内成果発表会への招待
- 「人材育成」高校3年間で多様な探究学習に取り組み成長させる  
→ 課題研究(獣害対策・商品研究)、自動車実習、ヤンマー連携事業  
韓国京畿自動車科学高校交流事業、講演会(IoT分野・獣害分野)
- 「人材供給」企業や地域と連携して進路や地域人材として貢献する  
→ LINEチャット開設、進路連携(インターンシップ)

E 兵庫県 兵庫県立姫路工業高等学校

2024年度~

テーマ

カーボンニュートラルへの挑戦！  
～蓄電池業界を牽引するゲームチェンジャーの育成～

兵庫県立姫路工業高等学校では、蓄電池人材を育成、地域産業と共に取り組んでいます。

これまで、関西蓄電池人材育成等コンソーシアムを中心に参画機関の企業等と連携のもと、

- 企業による特別授業(約40回)、学校行事での特別協働授業実習(2回)等
- 企業との小型蓄電池製造の共同実習(拠点校、連携校)

などの取組を行い、蓄電池業界への興味関心の向上、就職者の増加という成果が出ています。

管理機関の取組としては、複数の連携校で取り組んでいる事例や仕組みを他校にも広げることや、他府県の専門高校との連携した取組を行っています。

2年間の活動を振り返りつつ、発表します。



# 事業成果発表概要

③13:45～14:20(14:05→14:20講評)

A 新潟県 新潟県立海洋高等学校

2021年度～

テーマ

未来を担う水産業・農業を担うプロフェッショナルの育成

生徒の基礎的・汎用的能力や関連業種への進路意識を高める効果が認められた海洋高等学校の产学官連携のカリキュラムを、同地域にある高田農業高校へ普及させることを目指しました。

そのために、今年度は両校が協働して3つの「TAN-KY(探究)プロジェクト」に取り組みました。

1. 未利用魚や水産加工残渣を原料とした堆肥製造と有機農業の実践
2. 国際認証(GLOBALG.A.P.、HACCP)取得食材による鱈寿司の共同開発
3. 養殖と水耕栽培を融合した食料生産システム「アクアポニックス」の共同運用

これらの取組の教育的効果と地域産業への貢献について発表します。

B 北海道

北海道更別農業高等学校・北海道室蘭工業高等学校  
北海道旭川商業高等学校・北海道小樽水産高等学校

2021年度～

テーマ

「北の専門高校ONE-TEAMプロジェクト

専門高校と産業界のサステナブルな連携を目的としており、

- 学科の垣根を越えた「横」のつながり
  - 小中学校や企業との「縦」のつながり
- の両面から、専門高校の連携を推進しています。



これまで、

- 専門高校卒業生がDXを活用して働く姿を紹介する「おしごとガイドブック」の制作
- 産学連携の意義等を共有する「産学連携シンポジウム」の開催
- 専門高校の価値や魅力を発信する「専門高校魅力発見ガイド」の発行
- 半導体や洋上風力発電など、先端技術への理解を深める教員研修

などに取り組んできました。こうした取組や成果について発表します。

# 事業成果発表概要

③13:45～14:20(14:05→14:20講評)

D

清和学園高等学校 × 東日本電信電話会社埼玉事業部埼玉西支店/  
越生町/学校法人一川学園

2023年度～

テーマ

SX人材育成3年目の取り組みと今後の方向性

今年度は3年目として、全学科について情報科目を1年前期に集約し、調理科では学校設定科目「特産品開発」を設けました。

自動車科・調理科の双方で企業連携を強化するとともに、自動車科では今年度の新たな取り組みとして地域課題の解決に挑戦しました。

こうした実践を通して、生徒の成長を確認することができました。

最終年度として、これまでの取り組みと、それを踏まえた継続に向けた自走体制の方向性について発表します。

E

仙台市立仙台工業高等学校 × 宮城県情報サービス産業協会/  
仙台市/仙台市教育委員会

2023年度～

テーマ

働きたいまち SENDAIを目指して  
～「地学地就」を目的とした情報系学科・情報系専攻科の創設と  
「産学官」連携によるデジタル技術を活用できる次世代エンジニアの育成～

- 技術者育成の成果提示
  - ✓ 3年間の取組を通じた、地元仙台への定着に関する経年変化の紹介
- 教育内容と連携の深化
  - ✓ 情報科開設とそれに伴う産業実務家教員の活用
  - ✓ 各学科と企業・大学等が連携した実践的学びの進展
- 組織改革へのアプローチ
  - ✓ 伴走者の協力による校内ワークショップの実施(計4回)
  - ✓ 「魅力あり選ばれる工業高校」に向けた校内組織改革の課題共有
- 今後の展望
  - ✓ 取組の自走化と、地域とともに成長する学校づくりの推進

